

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 34	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 切り花生産における売上増加に向けた統合環境管理技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 施設切り花生産では経費の高騰により利益を確保するためには収入を増加させる必要がある。品質の高度化による所得増より収穫量の増加の効果は高い。そのため、ある程度の品質を確保しながらも収穫本数を確保することが出来る栽培技術の開発が望まれる。 そこで、施肥（CO2を含む）、温湿度、日照（補光を含む）など環境要因を制御することにより、単位面積当たりの売上額を0.5～1倍増を目指すことを目標とする。そのため、ある条件下で生産した切り花の品質と収穫量と測定し、最適なそれぞれの環境要因の把握に向けた基礎的な調査研究を行いながら、様々な知見を統合し、優れた品質で収穫量の確保できる統合環境管理技術の開発を願いたい。また、他の施設切り花生産にも順次、開発を願いたい。 県内施設切り花生産者 バラ 30戸、カーネーション 30戸、スイートピー 25戸、その他 20戸	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-2 (4) 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 ク 環境制御技術開発に向けた特産花き栽培の見える化および技術の平準化			
対応の内容等 スイートピーでは、低日照時のLED処理により小花数安定が安定し、落蕾抑制に効果があること（神奈川農技研報163号）、生育初期からの長日処理による着蕾安定および生育中期からの長日処理による落蕾後の樹勢回復効果（岡山県、平成27年度試験成績）などの報告があります。現在、県内のスイートピー生産者圃場でLED処理の実証が行われており、当課ではLEDの有効な活用方法の検討を行っています。 バラでは二酸化炭素施用による増収効果の試験報告や現地実証事例が多数あり、県内でも二酸化炭素施用を行っている生産者が複数います。愛知県では二酸化炭素施用の効率化のため、湿度コントロール（ミスト施用）とヒートポンプを推奨しています。本県は養液耕と土耕が混在し、仕立て方も多様ですので栽培の現状と設備投資について生産者の要望を把握し課題化を検討していきます。現地の情報提供にご協力をお願いいたします。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			